

北区の現状と課題

目 次

○北区の現状と課題	1
○統計でみる北区	
1 自然・地勢	4
2 人口	6
3 産業	11
4 生活環境	14
5 福祉	16
6 教育	18
7 観光・文化	20
8 景観	22
9 防災	24
10 学区の概要	25

北区の現状と課題

○まちの現状と特徴

北区は 1955 年（昭和 30 年）に上京区から分区し誕生してから今日まで、京都市の北部の中心として発展してきました。

北区は、京都市域の北部に位置し、右京区、左京区につぐ広大な面積を有する区で、北山や賀茂川をはじめ、多くの自然に囲まれています。また、区内には歴史的・文化的資源も多くあります。

住宅地を中心とする地域ですが、地域ごとに特色のある産業が盛んとなっています。産業でみれば、おおむね 3 つの地域に区分できると考えられます。北山杉を代表とした林業が盛んな北部山間部、賀茂ナスなどの京野菜の栽培が盛んな上賀茂、柊野、大宮、鷹峯地区、そして南部は、西陣織を中心とした繊維工業が盛んとなっています。しかし、長引く不況で区内の多くの企業が打撃を受けており、立て直しが求められています。

○自然に囲まれたまち

北区は、京都市の北西に位置し、東は賀茂川が流れ、北には北山の峰々を、西には衣笠山、そして、まちの中心部には、区民の憩いの場で原生植林の照葉樹林がある船岡山等、自然に囲まれたまちです。天然記念物に指定されている深泥池生物群集、大田ノ沢のカキツバタ群落など、とりわけ重要な自然資源もあります。今後は、このような自然の保全と活用が求められています。

○人口減少・少子高齢化が進むまち

北区の人口は、長期的に見れば減少傾向にあります。特に北部山間部の過疎化が問題となっています。そのような中で、世帯数は増加しており、核家族化、単身世帯が増えています。

また、北区の 65 歳以上の人口は、年々増え続けており、平成 20 年は 23.2%と市の平均 22.2%を上回っています。また、学区別で見ても 19 学区の内 14 学区が 20%を越えており、高齢者単身世帯、高齢夫婦世帯も増加と、今後も高齢化が進むと考えられます。

合計特殊出生率は、市の平均 1.14 を下回る 1.13（平成 19 年）で、まさに少子高齢化が進んでいるといえます。

○学生が集うまち

北区には、大谷大学、京都産業大学、佛教大学、立命館大学の、4 つの大学があり、多くの学生が住むまちです。しかし、その一方で、多くの学生がターミナルと大学を行き交うのみで、地域との関わりは疎遠で限られています。学生の地域活動への積極

的な参加や、大学と地域との継続的な交流などを進めることにより、学生が集い、ま
ちににぎわいと活力を生む取組を進めていくことが求められています。

○伝統的な産業と、先進的な産業が共存しているまち

北区には、大規模な工場や工業団地などはなく、地域ごとに特色のある産業が多く
あります。南部の紫野、柏野地域一帯は北区の主要産業であり、伝統産業でもある西
陣織の生産地で、今も機音が聞こえてきます。このように工業では、繊維関係が中心
ではありますが、出荷額で見ると、精密機械器具が区全体の約40%を占めています。

また、北部の上賀茂、大宮、柵野地域を中心に、トマト、ナス、ネギ、トウガラシ、
その他青物類など旬野菜の栽培が行われています。とりわけ、すぐき菜、加茂ナス、
柵野ささげ、鷹峯とうがらし、辛味大根などの伝統野菜は、いわゆる「京野菜」とし
て全国的な支持を受けるブランド野菜となっています。

○課題をかかえる商店街

北区には、北大路や北野白梅町を中心に、大規模な小売店舗や大型スーパーがあり
ます。その一方で地域に密着した地元商店街も多くあります。北区の商店街は、主に
区民が日常利用する生活密着型商店街が中心となっています。

近年、長引く不況、後継者不足、周辺地域での大型店舗の増加等により、商店街の
利用客数の減少、そして空店舗が増えるなどの課題を抱えています。

○住みよい環境が整ったまち

豊かな自然と長い歴史に培われた北区は、京都の伝統的な町並みと戦前から整備が
始まった整然とした区画に京都らしい落ち着きのある生活環境を備えています。区内
には、その町並みが「伝統的建造物群保存地区」に指定されている上賀茂地区をはじ
め、上賀茂・西賀茂、神山、金閣寺、衣笠・御室などの「歴史的風土特別保存地区」
があるほか、北山の山々、そして天然記念物である深泥池生物群集をはじめとする歴
史・文化・自然的資源が豊富に存在しています。

また、公園は数こそ少ないですが、賀茂川、北山、船岡山等身近に自然が感じられ
る環境となっています。また、区内には北大路や北野白梅町などの大型店舗のみなら
ず、地元密着した多くの商店街があり、生活していくのに比較的便利な環境にあり
ます。

一方、火災件数、交通事故発生件数、刑法犯罪発生認知件数は、いずれも減少して
します。北区は、人口比で見るといずれも市の平均を下回っており、安心して暮らせ
るまちと考えられます。

今後は、このような環境を保全し、いつまでも安心して暮らせるまちづくりが求め
られています。

○恵まれた観光資源を有するまち

北区には、1994年に世界遺産登録された賀茂別雷神社（上賀茂神社）、鹿苑寺（金閣寺）をはじめ、南北朝時代創建になる禅宗寺院の名刹大徳寺や光悦寺、正伝寺など日本を代表する神社仏閣も数多く立地し、多くの美術・工芸品や名勝・史跡・庭園にも恵まれています。

また、有名な祭事に、京都三大祭のひとつ「葵祭」、京都三大奇祭のひとつ今宮神社の「やすらい祭」など、様々な伝統文化行事も数多くあります。また8月16日に京の夜空を彩る「五山の送り火」では、左大文字、船形万燈籠の二山が北区にあります。

その一方で、今後これらの有形・無形の豊富な文化財を守り、将来に渡って積極的に継承し、活用していくことが責務となっています。

○防災力を高めていく必要のあるまち

北区は自然に恵まれた地域である反面、自然災害には大変弱い側面をもっています。大雨時には、河川の氾濫（賀茂川、紙屋川等）や山間部における土砂災害発生の可能性も高くなっています。

また、大地震発生時には、特に老朽密集住宅が多い地域（柏野、紫野、鳳徳）での家屋倒壊や火災の発生も予想され、災害発生時の被害をできるだけ最小限に抑えるための地域ごとの防災計画の策定が急務となっています。

○人権を大切にすまち

区内には、府立盲学校、京都ライトハウス、京都朝鮮第三初級学校などがあり、人権に関する様々な取組が、区民自らの手で展開されてきました。

今後も、子ども、高齢者、女性、同和問題、障害のある人、外国人などのさまざまな人権問題に対して、区民一人一人が理解し、人権尊重のまちとしていくための様々な啓発活動等に取り組んでいくことが求められています。

1 自然・地勢

北区は、京都市の北西に位置し、東には賀茂川の清流が流れ、北には北山の山並みが続き、西には衣笠山が広がり、自然に囲まれています。南は上京区、左京区、中京区、右京区と接し、他区とも一帯となって市街地が構成されています。北部の北山杉の山並み、南部の町家の連なりが、変化に富んだ北区を特徴づけるものとなっています。

○各区の面積と割合

面積は 94.92 k㎡で市の 11.5%を占め、右京区、左京区に次いで3番目に大きな行政区です。

	面積(k㎡)	割合(%)
総数	827.90	100.0
北区	94.92	11.5
上京区	7.11	0.9
左京区	246.88	29.8
中京区	7.38	0.9
東山区	7.46	0.9
山科区	28.78	3.5
下京区	6.82	0.8
南区	15.78	1.9
右京区	291.95	35.3
西京区	59.20	7.2
伏見区	61.62	7.4

(参考:京都市統計書 平成20年版)

○位置

東端	西端	東西距離(m)
上賀茂 狭間町	小野笠谷	11.51
南端	北端	南北距離(m)
大將軍 東鷹司町	雲ヶ畑 中津川町	16.57

(参考:京都市統計書 平成20年版)

○地勢

最高地	高度(m)
棧敷ヶ岳	895.9
最低地	高度(m)
北野下白梅町	60.0

(参考:京都市統計書 平成20年版)

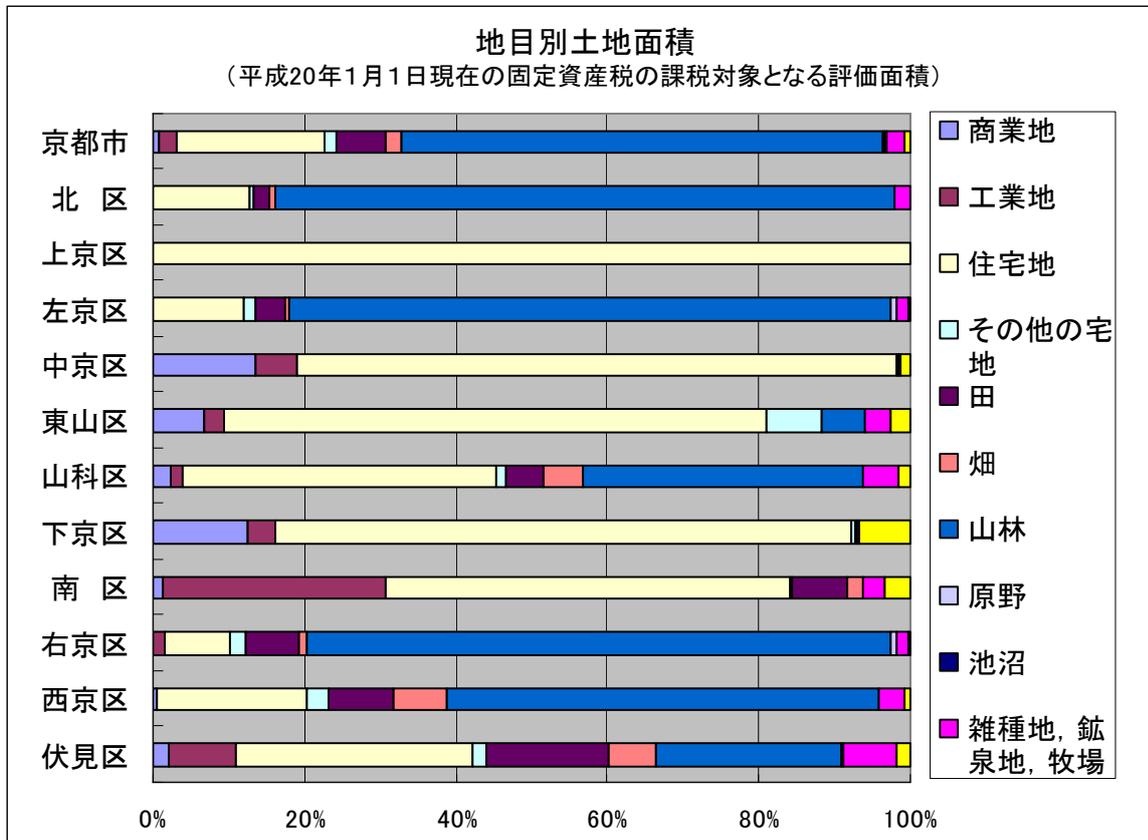
○河川(一級河川)

河川名	流路延長	区間	
		上流端	下流端
鴨川	23,045	雲ヶ畑中畑町	一級河川桂川合流点
天神川	14,243	鷹峯千束町	一級河川桂川合流点
宇多川	2,300	等持院東町	一級河川御室川合流点
清滝川	21,056	大森東町	一級河川桂川合流点

(参考:京都市統計書 平成20年版)

○土地利用

北区は、山林の割合が最も多く約8割を占め、商業及び工業地の割合はきわめて少なくなっています。土地利用の割合は、左京区とおおむね同じ割合になっていますが、田の割合が少なくなっています。



(参考:京都市統計書 平成20年版)

○北区の優れた自然 (主なもの)

- ・ 深泥池 (国の天然記念物)

周囲 1.5km, 面積 9ha の小さな池ですが、西日本の平坦地では珍しい浮島があり、また、氷河期以来の動植物が今も生き続けるとともに多くの水生植物、昆虫、魚類、野鳥等がいます。

- ・ 大田ノ沢のカキツバタ群落 (国の天然記念物)

平安朝のころからすでに名所として知られ、その広さは約 2,000 m²にも及んでいます。

- ・ 船岡山 (国の史跡)

標高 112m のなだらかな丘陵地で、市街地にありながら照葉樹が自然のままに茂り、縄文時代のころの京都盆地の面影を残す貴重な森です。応仁の乱の陣跡などがあるほか、船岡山公園としてグラウンド等も整備されています。

(参考:未来に届け! 京都の自然)

2 人口

○各区の世帯数と人口（平成20年10月1日）

北区の人口は122,265人で市全体の約8%を占め、行政区では6番目となっています。人口密度は3番目に少なく、1世帯あたりの人員は6番目に少なくなっています。

	世帯数 (世帯)	人口				人口密度 (人/km ²)	1世帯平均 人員(人)
		総数(人)	男(人)	女(人)	割合(%)		
京都市	671,261	1,467,313	697,656	769,657	100.0	1,772	2.19
北 区	56,338	122,265	58,552	63,713	8.3	1,288	2.17
上京区	42,784	82,613	38,380	44,233	5.6	11,619	1.93
左京区	80,794	167,121	81,129	85,992	11.4	677	2.07
中京区	53,707	103,533	47,410	56,123	7.1	14,029	1.93
東山区	20,669	40,827	17,243	23,584	2.8	5,473	1.98
山科区	58,321	136,064	64,861	71,203	9.3	4,728	2.33
下京区	40,480	76,144	35,152	40,992	5.2	11,165	1.88
南 区	44,883	98,683	49,202	49,481	6.7	6,254	2.20
右京区	89,860	203,018	96,146	106,872	13.8	695	2.26
西京区	61,203	153,458	73,494	79,964	10.5	2,592	2.51
伏見区	122,222	283,587	136,087	147,500	19.3	4,602	2.32

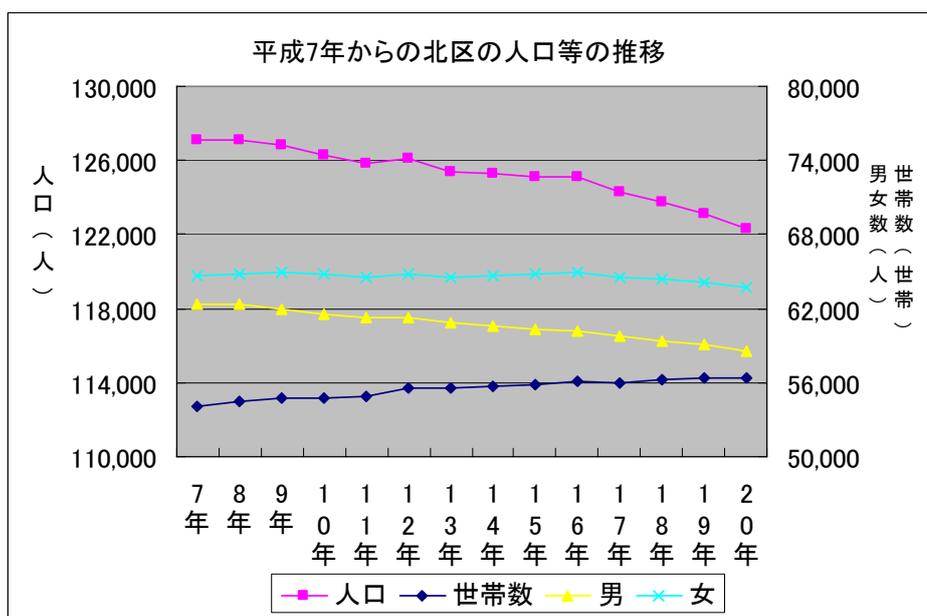
(参考:京都市統計書 平成20年版)

○人口の推移

北区の人口は、緩やかな減少傾向にあります。昭和50年（人口138,193人、世帯数48,272世帯）を境に減少に転じていますが、北区が成立した昭和30年（人口117,405人、世帯数27,061世帯）と比較して、

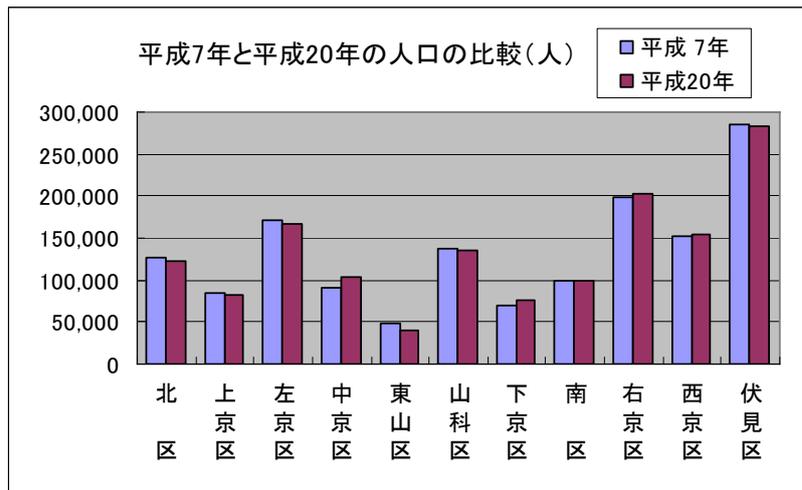
人口は約5,000人の増加、世帯数は約2倍となっています。

内訳をみると、男性は大幅に減少している中、世帯数及び女性は増加しており世帯の縮小が進んでいます。



(参考:京都市統計書 平成20年版)

平成7年と平成20年との比較では、全市的に見れば、1,463,822人から1,467,313人と微増ながら増加していますが、多くの区では北区のように減少しています（増加しているのは、中京・下京・右京・西京の4区のみ）。



(参考:京都市統計書 平成20年版)

○人口動態(平成19年)

北区では、市全体と同じように、自然増加、社会増加ともにマイナスとなっています。

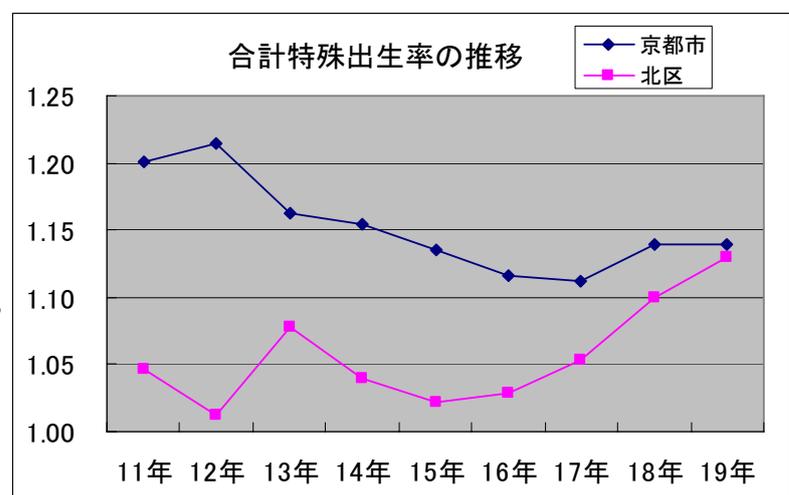
	自然動態			社会動態				人口増加
	出生	死亡	自然増加	転入	転出	その他	社会増加	
京都市	11,789	12,897	△ 1,108	107,227	110,886	1,449	△ 2,210	△ 3,318
北区	870	1,129	△ 259	7,779	8,307	96	△ 432	△ 691
上京区	463	899	△ 436	6,979	6,898	49	130	△ 306
左京区	1,185	1,502	△ 317	12,689	13,359	119	△ 551	△ 868
中京区	754	954	△ 200	9,303	9,109	111	305	105
東山区	221	579	△ 358	2,962	3,300	36	△ 302	△ 660
山科区	1,166	1,010	156	9,253	9,526	111	△ 162	△ 6
下京区	627	758	△ 131	7,710	7,385	101	426	295
南区	900	931	△ 31	7,614	7,461	154	307	276
右京区	1,642	1,625	17	13,287	13,348	218	157	174
西京区	1,433	1,069	364	9,919	11,086	144	△ 1,023	△ 659
伏見区	2,528	2,441	87	19,732	21,107	310	△ 1,065	△ 978

(参考:京都市統計書 平成20年版)

○出生率の推移

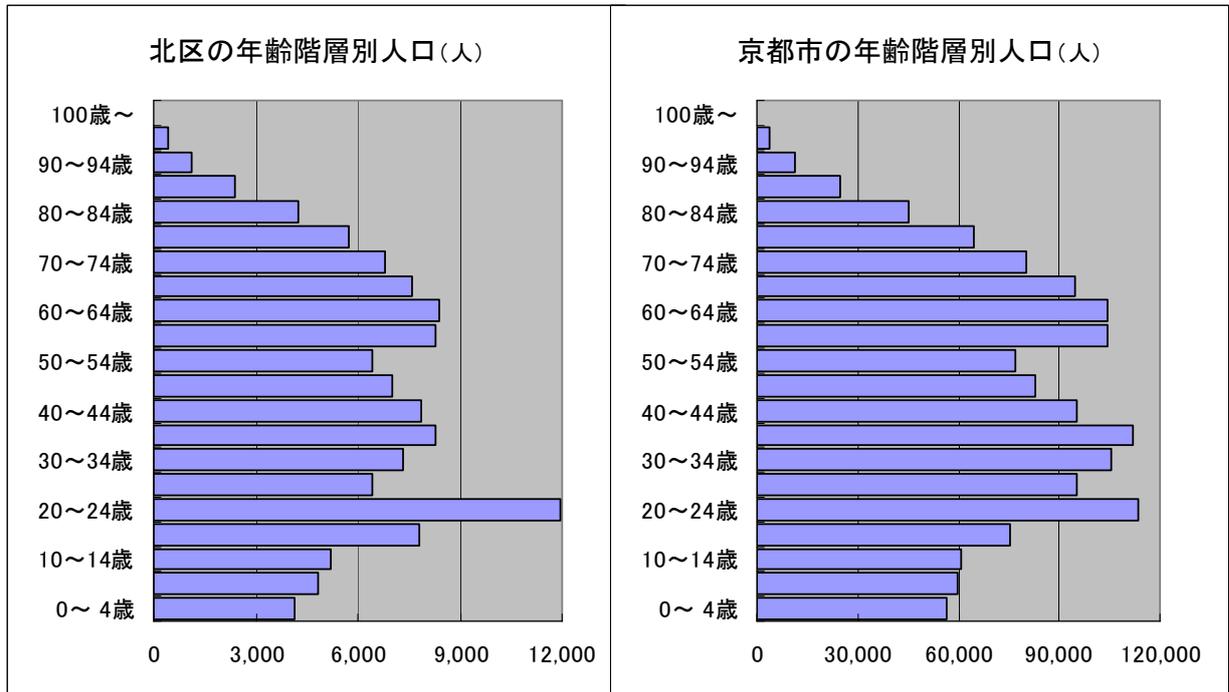
北区の合計特殊出生率は、1.13人で市全体の1.14人とほぼ同じ水準となっています。市全体としては減少傾向にあるものの、北区は増加しています。

(参考:ホームページ 京都市の統計情報「人口統計」)



○人口構成

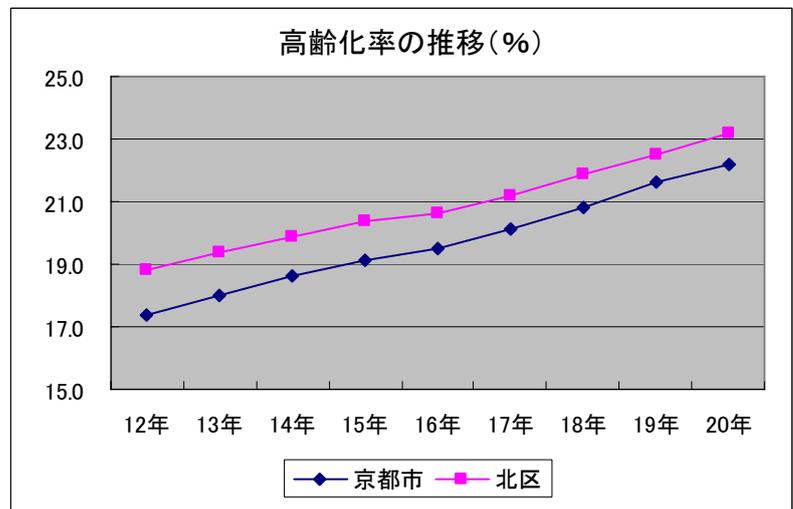
北区の年齢別人口はおおむね京都市全体と同じ形をしています。特徴的なのは、区内に大学が多くあるためか、20歳～24歳の人口が最も多くなっている点です。



(参考:ホームページ 京都市の統計情報「人口統計」)

○高齢者人口と高齢化率

北区の65歳以上の人口は年々増え続けており、高齢化率は23.2%で京都市全体(22.2%)を上回っています。



(参考:統計解析No. 22「京都市の高齢者人口」)

○高齢者単身世帯, 高齢夫婦世帯

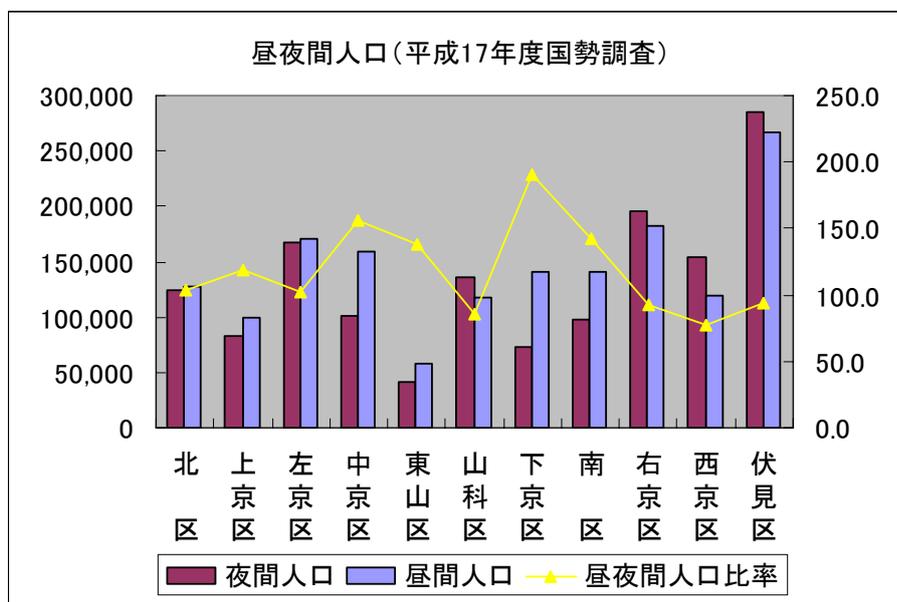
市や他区と同じく、北区も高齢単身者世帯、高齢夫婦世帯が増加しておりますが、単身者世帯の増加率は最も低く、高齢夫婦世帯の増加率は4番目に低くなっています。

	65歳以上の単身者数			高齢夫婦世帯数 (夫65歳以上, 妻60歳以上)		
	平成17年度	平成12年度	増加率	平成17年度	平成12年度	増加率
京都市	60,714	51,198	119%	53,960	45,211	119%
北区	4,953	4,742	104%	4,953	4,380	113%
上京区	4,336	3,927	110%	3,563	3,390	105%
左京区	7,259	6,299	115%	6,453	5,578	116%
中京区	5,070	4,232	120%	3,814	3,472	110%
東山区	3,006	2,732	110%	1,865	1,800	104%
山科区	5,077	4,012	127%	4,731	3,616	131%
下京区	4,200	4,005	105%	3,011	2,797	108%
南区	4,653	3,781	123%	3,361	2,878	117%
右京区	7,499	5,710	131%	7,640	5,866	130%
西京区	3,883	2,878	135%	5,087	3,742	136%
伏見区	10,778	8,880	121%	9,482	7,692	123%

(参考：国勢調査)

○昼夜間人口

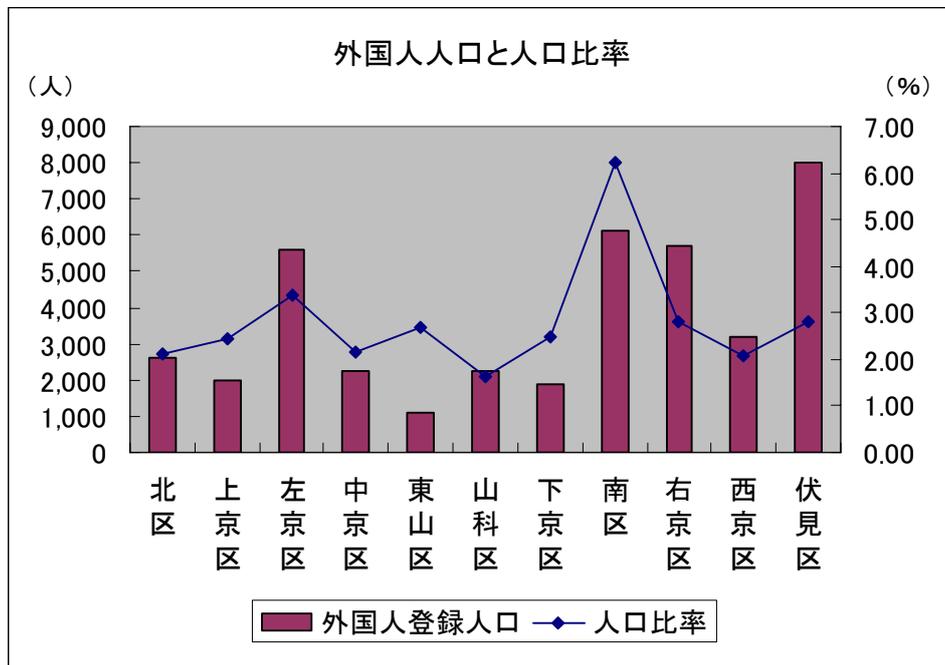
北区の昼夜間人口比率は103.7%で、市全体(108.4%)を下回っており、昼間人口が少し多くなっています。



(参考：京都市統計書 平成20年版)

○北区の外国人

北区の外国人人口は行政区で第6位、人口比率で見ると市全体(2.78%)を下回り、山科区、西京区に次いで3番目に低くなっています。



(参考:ホームページ 京都市の統計情報「人口統計 外国人登録人口」)

3 産業

○京都市農林統計調査

農家数及び農家人口（各年11月1日）

農家数及び農家人口は、右京区（京北町との合併）と中京区は増加していますが、北区を含むそれ以外の区は、減少または横ばいとなっています。北区の経営耕地面積は、行政区の中で5番目となっており、約7割を田が占めています。畑は4番目、1戸あたりの面積は、5番目となっています。平成13年度比較すると、下京区、右京区のほかは減少か横ばいとなっています。

	平成19年				平成13年			
	農家数(戸)		常住世帯員(人)		農家数(戸)		常住世帯員(人)	
	総数	専業	総数	うち自家農業従事者	総数	専業	総数	うち自家農業従事者
京都市	7,295	956	31,762	14,363	6,303	757	28,700	12,499
北区	562	99	2,619	1,402	578	100	2,697	1,465
上京区	14	—	57	21	14	—	56	20
左京区	991	17	4,155	1,589	1,017	17	4,255	1,665
中京区	22	2	82	38	19	2	74	33
東山区	4	—	11	4	4	—	12	4
山科区	490	38	2,378	714	492	38	2,402	725
下京区	37	7	147	54	36	7	151	57
南区	503	125	2,280	1,224	529	129	2,400	1,285
右京区	1,726	313	6,241	3,549	671	109	2,790	1,435
西京区	1,217	140	5,681	2,933	1,217	141	5,704	2,952
伏見区	1,729	215	8,111	2,835	1,726	214	8,159	2,858

(参考:京都市統計書 平成20年版)

経営耕地面積 種類別（各年11月1日）

	平成19年					平成13年				
	総面積(ヘクタール)				1戸当たり経営耕地面積(アール)	総面積(ヘクタール)				1戸当たり経営耕地面積(アール)
	田	畑	樹園地			田	畑	樹園地		
京都市	3,278.9	2,477.4	482.8	318.7	45.0	2,842.4	2,098.0	419.2	325.2	45.1
北区	250.1	184.4	63.6	2.1	44.5	261.2	192.2	66.9	2.1	45.2
上京区	3.7	2.1	1.6	0.0	26.4	4.2	2.5	1.7	—	30.0
左京区	284.1	259.5	23.3	1.3	28.7	301.1	274.9	24.9	1.3	29.6
中京区	6.6	5.2	1.4	—	30.0	7.3	5.5	1.8	—	38.4
東山区	1.1	0.6	0.5	—	27.5	1.4	0.8	0.6	—	35.0
山科区	170.7	99.6	48.8	22.3	34.8	177.5	108.3	49.2	20.0	36.1
下京区	16.8	11.8	3.7	1.3	45.4	15.5	10.6	2.9	2.0	43.1
南区	199.1	151.3	41.9	5.9	39.6	207.6	160.3	41.2	6.1	39.2
右京区	851.0	721.1	66.3	63.6	49.3	367.9	263.9	40.5	63.5	54.8
西京区	612.7	369.6	82.3	160.8	50.3	607.1	370.1	70.7	166.3	49.9
伏見区	883.0	672.2	149.4	61.4	51.1	891.6	708.9	118.8	63.9	51.7

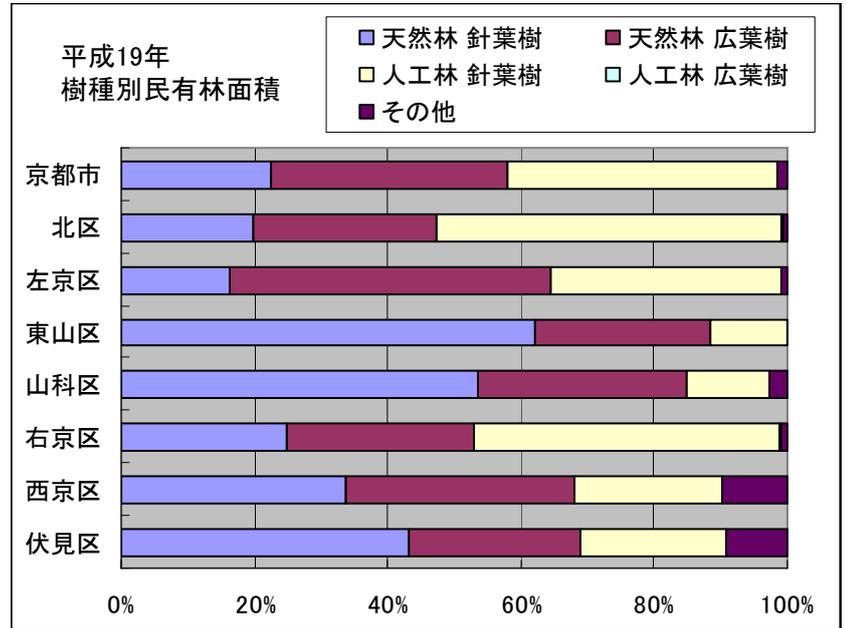
(参考:京都市統計書 平成20年版)

北区の山林面積は、7,879.64 ヘクタールで、市の約13%を占め、右京区、左京区に次いで3番目の広さとなっています。民有林面積に占める針葉樹人工林の割合は52%で、行政区の中でトップです。

国有民有別山林面積（平成19年11月1日）

	総数(ヘクタール)	国有林	民有林
京都市	60,846.89	1,611.22	59,235.67
北区	7,879.64	162.13	7,717.51
左京区	21,521.96	663.68	20,858.28
東山区	157.34	147.74	9.60
山科区	1,330.33	156.27	1,174.06
右京区	25,377.02	75.19	25,301.83
西京区	3,126.68	217.31	2,909.37
伏見区	1,453.92	188.90	1,265.02

(参考:京都市統計書 平成20年版)



○工業統計

事業所数は167で京都市の5.3%（8番目）を占めています。規模的（事業所・従業員数）には、繊維工業が北区の主要産業であるといえますが、出荷額で見ると精密機械器具製造業が区の40.3%を占めています。（平成19年12月31日）

	事業所数		従業員数		年間製造品出荷額等(万円)	
	数	割合	数	割合	額	割合
食料品製造業	20	12%	306	15%	236,241	8%
繊維工業(衣服・その他の繊維製品を除く)	75	45%	602	30%	695,120	24%
衣服・その他の繊維製品製造業	26	16%	521	26%	396,597	13%
木材・木製品製造業(家具を除く)	3	2%	21	1%	14,980	1%
家具・装備品製造業	3	2%	38	2%	35,400	1%
パルプ・紙・紙加工品製造業	5	3%	22	1%	11,111	0%
印刷・同関連業	5	3%	21	1%	22,017	1%
化学工業	3	2%	45	2%	χ	
なめし革・同製品・毛皮製造業	3	2%	24	1%	26,520	1%
金属製品製造業	6	4%	47	2%	43,856	1%
一般機械器具製造業	4	2%	56	3%	48,536	2%
電気機械器具製造業	2	1%	63	3%	χ	
電子部品・デバイス製造業	4	2%	36	2%	29,024	1%
精密機械器具製造業	5	3%	211	10%	1,185,755	40%
その他の製造業	3	2%	16	1%	13,315	0%
北区総数	167	100%	2,029	100%	2,950,776	100%

○商業統計

北区では、小売業では飲食料品が、卸売業では繊維・衣服等卸売業が、一番規模が大きくなっています。

(平成16年6月1日)

	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)
卸 売 業 計	306	1,599	49,805
繊維・衣服等卸売業	134	588	16,666
飲食料品卸売業	56	314	8,521
建築材料等	29	144	3,812
機械器具卸売業	25	168	8,541
その他の卸売業	62	385	12,266
小 売 業 計	1,395	7,603	104,978
各種商品小売業	4	845	20,273
織物・衣服等	230	645	6,815
飲食料品小売業	524	3,334	38,693
自動車・自転車小売業	74	315	7,540
家具・じゅう器等	124	472	6,169
その他の小売業	439	1,992	25,488
北 区 総 数	1,701	9,202	154,783

(参考:京都市統計書 平成18年版)

○商店街

北区には、北大路や白梅町などの商業地のほか、商店街が多く存在します。

商店街名	店舗数	場所
御園橋801商店街振興組合	100	御園橋西詰～紫竹西通
北山街協同組合	45	北山通(北山橋東詰)の北側付近
新大宮紫竹サービスチェーン	26	北山通新大宮以北, 久我神社まで
新町商店街	107	新町通(北山～北大路)
新大宮商店街振興組合	200	新大宮通(北山～北大路)
北大路商店街振興組合	87	烏丸北大路を中心に南北50m, 東西400m
紫明商店街振興組合	51	北大路通(烏丸～新町)
鞍馬口商店連盟会	34	烏丸通(紫明～上御霊前), 鞍馬口通(寺町～室町)
船岡共栄会	79	鞍馬口(千本～大宮)
西一条商店街	48	一条通(西大路～馬代)

(参考:京都商店連盟「京の商店街2005」)

4 生活環境

○公園（平成19年度）

北区には57の市営公園があり、交通公園は北区にしかありません。

人口比で見た公園面積は、行政区で中京に次いで、2番目に小さく、総面積に占める公園面積の割合も右京区に次いで2番目に小さくなっています。

	総数		人口1人当たり公園面積(m ²)	市(区)面積に対する公園面積の割合(%)
	数(箇所)	面積(m ²)		
京都市	842	6,910,220	4.7	0.83
北区	57	181,045	1.48	0.19
上京区	21	678,144	8.21	9.54
左京区	101	1,244,054	7.45	0.50
中京区	27	76,138	0.74	1.03
東山区	15	105,227	2.57	1.41
山科区	78	341,676	2.51	1.19
下京区	28	175,681	2.32	2.58
南区	84	540,484	5.50	3.43
右京区	76	482,276	2.38	0.17
西京区	111	2,017,517	13.16	3.41
伏見区	244	1,067,978	3.77	1.73

(参考:京都市統計書 平成20年版)

○火災、交通事故、刑法犯認知件数

市全体でみると、火災、交通事故、刑法犯認知件数ともに平成17年と比べ、減少しています。北区は、人口比でみるといずれも市の平均を下回っています。

	火災件数			交通事故発生件数			刑法犯罪発生認知件数			平成19年人口
	平成19年		平成17年	平成19年		平成17年	平成19年		平成17年	
	千人当たり			千人当たり			千人当たり			
京都市	231	0.16	276	10,586	7.21	14,338	34,679	23.61	37,965	1,468,588
北区	16	0.13	21	686	5.57	867	2,306	18.72	2,656	123,167
上京区	10	0.12	15	452	5.45	571	1,466	17.68	1,471	82,941
左京区	20	0.12	17	816	4.86	1,173	3,655	21.76	3,932	167,995
中京区	20	0.20	15	858	8.40	1,088	3,707	36.30	3,842	102,127
東山区	9	0.22	18	436	10.54	597	1,423	34.40	1,639	41,367
山科区	24	0.18	19	1,066	7.83	1,394	2,684	19.71	3,139	136,206
下京区	13	0.17	28	807	10.63	1,178	3,680	48.48	3,728	75,910
南区	25	0.25	23	1,312	13.37	1,763	3,001	30.58	3,472	98,124
右京区	21	0.10	36	1,125	5.55	1,536	3,356	16.55	3,453	202,837
西京区	18	0.12	26	989	6.43	1,326	2,712	17.63	2,971	153,791
伏見区	55	0.19	58	2,039	7.18	2,845	6,689	23.54	7,662	284,123

(参考:京都市統計書 平成20年版)

○医療施設数（平成19年10月1日）

北区には、病院・一般診療所・歯科診療所あわせて251箇所の医療機関があります。1箇所当たりの人口で見ると、市平均より少なくなっていますが、他区と数を比べると、病院は3番目、一般診療所は6番目、歯科診療所は5番目に多くなっています。

	総数		病院	一般診療所	歯科診療所
		一箇所当たりの人口			
京都市	2,713	541	110	1,746	857
北区	251	491	13	156	82
上京区	180	461	8	113	59
左京区	358	469	16	239	103
中京区	342	299	10	222	110
東山区	100	414	6	63	31
山科区	187	728	6	116	65
下京区	272	279	8	187	77
南区	146	672	7	95	44
右京区	277	732	11	182	84
西京区	210	732	7	127	76
伏見区	390	729	18	246	126

（参考：京都市統計書 平成20年版）

○駅別乗降客数（平成19年）

北区内の主な公共交通機関として、市バス、JRバス、京都バス、高速鉄道（地下鉄）、京福電鉄が挙げられます。

	高速鉄道						京福電鉄			
	総数		北大路		鞍馬口		市内駅総数		北野白梅町	
	定期外	定期	定期外	定期	定期外	定期	定期外	定期	定期外	定期
平成15年度	59,364	54,325	2,385	3,113	791	1,141	5,011	1,878	489	172
平成19年度	63,811	52,784	2,137	3,007	737	1,032	5,173	1,896	…	354

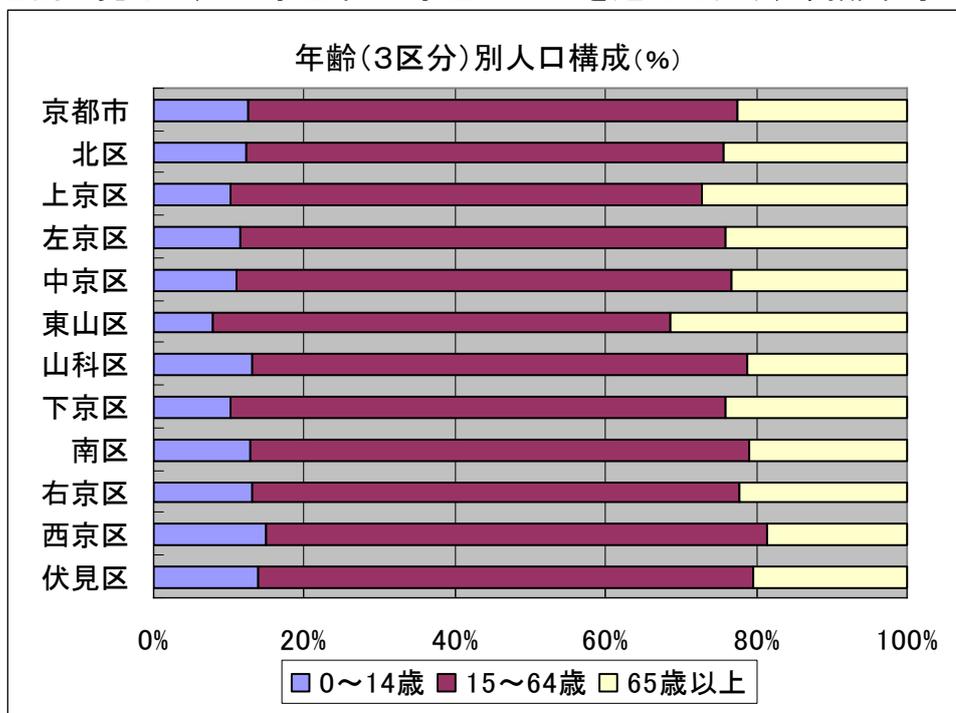
（参考：京都市統計書 平成20年版）

5 福祉

○進む少子高齢化

北区の高齢者の割合は24.4%で、全市平均の22.4%を上回っています（平成20年10月1日現在）。学区別で見ると、19学区中13学区で20%を超えており、高齢単身者世帯は全学区、高齢夫婦世帯も18学区で増加しており、今後も高齢化が進むと考えられます。

高齢化の一方で、平成19年の合計特殊出生率は、1.13で、市平均の1.14をわずかに下回っており、少子高齢化が進んでいます。



(参考:京都市統計書 平成20年版)

○生活保護

北区の保護状況は、保護世帯1,387世帯、保護率15.8‰（平成19年度）で、全市では上京について2番目に低い保護率を維持していましたが、長期不況の中で平成11年度からは、増加傾向となっています。

	平成19年度					平成15年度				
	申請	廃止	総数		保護率	申請	廃止	総数		保護率
			実世帯	実人員				実世帯	実人員	
京都市	4,753	4,121	26,366	39,096	26.6	6,610	4,659	23,630	35,409	24.2
北区	163	122	1,387	1,947	15.8	218	129	1,196	1,687	13.5
上京区	155	125	998	1,264	15.2	214	107	840	1,081	12.9
左京区	219	198	2,069	2,724	16.2	408	238	1,898	2,506	14.7
中京区	227	172	1,275	1,722	16.9	286	204	1,203	1,679	17.0
東山区	132	148	1,200	1,500	36.3	203	173	1,213	1,527	35.8
山科区	395	286	2,733	4,201	30.8	538	257	2,274	3,552	25.9
下京区	1,494	1,430	2,156	2,572	33.9	2,276	2,067	2,204	2,568	34.9
南区	374	338	3,046	4,605	46.9	530	310	2,843	4,290	43.9
右京区	391	279	2,647	4,115	20.3	475	308	2,201	3,482	17.9
西京区	299	232	1,854	3,129	20.3	339	171	1,536	2,684	17.3
伏見区	904	791	7,001	11,316	39.8	1,123	695	6,224	10,354	36.1

○児童福祉

北区には、21 箇所の保育所、3 箇所の昼間里親があります。保育所の待機児童数をみると、20 年度は増加しています。

保育所入所状況				
	北区(各年度4月1日)			京都市 (20年4月1日)
	18年度	19年度	20年度	
施設数	21	21	21	256
定員	2,035	2,020	2,020	24,420
申請児童	395	326	407	5,190
入所児童数	315	249	295	4,726
待機児童数	7	2	6	99

(参考:平成20年度福祉施策事業概要)

○障害者福祉

障害の種別や程度に応じて、身体障害者手帳や療育手帳を交付しています。北区での各手帳台帳登録者数は、全市平均とほぼ同じとなっています。

	身体障害者手帳交付数		療育手帳交付者数	
京都市	78,481	5.3%	10,277	0.7%
北 区	6,865	5.6%	756	0.6%
上京区	4,350	5.2%	550	0.7%
左京区	8,834	5.3%	1,154	0.7%
中京区	5,802	5.7%	604	0.6%
東山区	3,575	8.6%	294	0.7%
山科区	6,932	5.1%	965	0.7%
下京区	4,057	5.3%	436	0.6%
南 区	4,982	5.1%	815	0.8%
右京区	10,994	5.4%	1,339	0.7%
西京区	6,235	4.1%	1,006	0.7%
伏見区	15,855	5.6%	2,358	0.8%

(参考:京都市統計書 平成20年版)

6 教育

○学区別の教育機関等の数（平成19年5月1日現在）

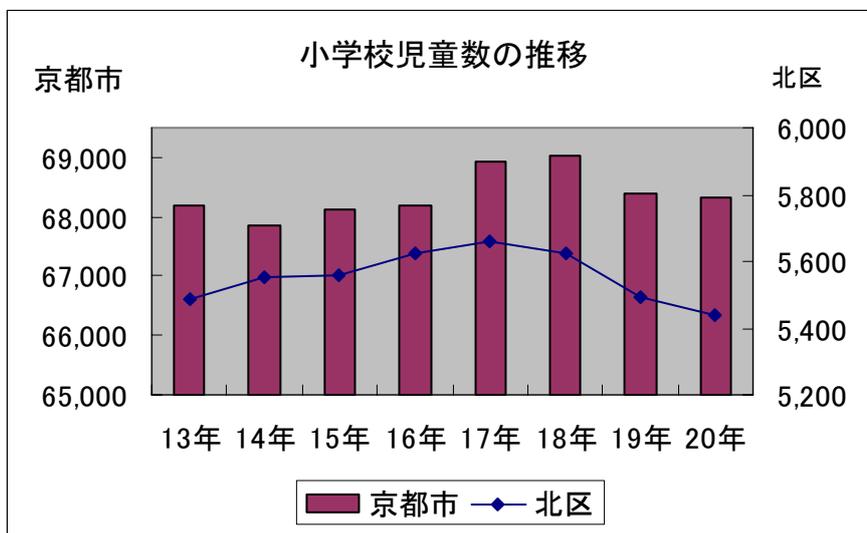
北区には、保育所が21箇所、幼稚園が9園、小学校が19校そして中学校が8校あります。

	項目					項目			
	保育所	幼稚園	小学校	中学校		保育所	幼稚園	小学校	中学校
北 区	21	9	19	7	元 町	1	1	1	0
待 鳳	2	1	1	1	紫 明	1	1	2	1
紫 竹	1	1	1	1	出雲路	1	0	0	0
鳳 徳	0	1	1	0	柏 野	2	0	1	0
紫 野	1	1	2	0	大 将 軍	2	0	1	0
楽 只	2	0	1	0	衣 笠	0	0	1	1
鷹 峯	2	1	1	0	金 閣	2	1	1	1
大 宮	1	0	1	0	中 川	0	0	1	0
柊 野	2	0	1	1	小野郷	0	0	0	0
上賀茂	1	1	1	0	雲ヶ畑	0	0	1	1

（参考：京都市統計書 平成20年版）

○小学校児童数の推移

全市的に人口減少や少子・高齢化が進む中で、学校に通う子どもの数が減少しており、北区でも減少傾向にあります。小学生数で見ると、北区は6番目に多い区となっています。



○小学校の平均児童数（平成19年5月1日現在）

1校あたりの児童数をみると、北区は312人で市平均375.3人より少なく、行政区でも4番目に少なくなっています。また、1学級あたりの児童数をみると、25.1人で、市平均26.4人より少なく、行政区でも上京区、南区と並んで3番目に少なく、さらに、1教員あたりの生徒数で見ると、北区は16.4人で、市平均の17.6人より少なく、行政区でも4番目に少なくなっています。

	1校平均 児童数	1学級平 均児童数	1教員当 り児童数
京都市	375.5	26.4	17.6
北区	312.0	25.1	16.4
上京区	326.4	25.1	17.0
左京区	298.6	25.4	16.3
中京区	361.6	27.2	17.6
東山区	174.9	22.8	12.1

	1校平均 児童数	1学級平 均児童数	1教員当 り児童数
山科区	499.9	27.9	19.2
下京区	232.5	22.1	14.2
南区	355.9	25.1	17.0
右京区	401.9	26.7	18.8
西京区	524.0	28.2	20.2
伏見区	444.7	27.4	18.0

(参考:京都市統計書 平成20年版)

○北区内の小学校児童数

北区では、生徒数が100人以下の学校が3校ある一方で、生徒数が700人を超える学校が3校あります。生徒数が一番多いのは大宮小の827人、生徒数が一番少ないのは、中川小で13人と学校ごとの生徒数の格差が大きくなっています。

平成13年と比較すると、北区全体では減少していますが、学区ごとにみると、柊野小は1.16倍と大きく増加し、山間部の雲ヶ畑小、中川小は0.4~0.6倍と大きく減少し、山間部以外では、鷹峯小が0.75倍と続いています。

小学校名	平成21年度児童数			13年度 児童数	対13年 度比	小学校名	平成21年度児童数			13年度 児童数	対13年 度比
	男	女	計				男	女	計		
元町	62	51	113	140	0.807	紫野	149	152	301	296	1.017
上賀茂	295	239	534	515	1.037	柏野	57	57	114	133	0.857
柊野	377	330	707	605	1.169	楽只	35	32	67	73	0.918
大宮	432	395	827	874	0.946	衣笠	172	169	341	343	0.994
雲ヶ畑	4	1	5	12	0.417	金閣	370	335	705	721	0.978
待鳳	219	226	445	476	0.935	大將軍	114	102	216	230	0.939
鳳徳	138	120	258	268	0.963	中川	9	4	13	22	0.591
紫竹	141	125	266	292	0.911	小野郷	0	0	0	13	0.000
鷹峯	105	97	202	266	0.759	北区計	2,775	2,549	5,324	5,484	0.971
紫明	96	114	210	205	1.024						

(教育委員会情報化推進総合センター)

7 観光・文化

北区には、平成6（1994）年に世界文化遺産に登録された賀茂別雷神社（上賀茂神社）、鹿苑寺（金閣寺）をはじめ、大徳寺、光悦寺などの神社仏閣が立地し、多くの美術・工芸品や名勝・史跡・庭園にも恵まれています。有名な祭事には、京都三大祭のひとつである上賀茂神社の「葵祭」、京都三奇祭のひとつである今宮神社の「やすらい祭」があり、8月16日に夜空を彩る「五山の送り火」では、左大文字・船形万燈籠の二山が北区にあります。区内には、豊臣秀吉の築造による御土居が一部国指定の史跡として残されているとともに、長坂口、鞍馬口など往時の有力な街道の起点が地名として残っています。

これら有形・無形の豊富で多様な文化財を守り、将来にわたって継承し、観光振興や地域の活性化に活用することが求められています。

○各区の文化財・国宝等

	重要文化財	重要無形文化財	重要有形民俗文化財	重要無形民俗文化財	国宝	史跡、名勝、天然記念物
京都市	1,826	12	2	6	211	90
北区	173	1	—	1	20	12
上京区	232	4	—	—	12	6
左京区	289	3	—	1	29	19
中京区	54	1	1	2	3	5
東山区	310	1	1	—	31	9
山科区	16	—	—	—	—	2
下京区	69	—	—	1	11	5
南区	79	—	—	—	26	2
右京区	442	2	—	1	57	22
西京区	18	—	—	—	1	4
伏見区	144	—	—	—	21	4

（参考：京都市統計書 平成20年版）

○市内訪問地ベストテン（平成20年）

訪問地	割合	訪問地	割合
1 清水寺	20.4	6 八坂神社	7.2
2 嵐山	16.2	7 高台寺	7.0
3 金閣寺	11.4	8 二条城	6.8
4 銀閣寺	9.4	9 嵯峨野	6.3
5 南禅寺	9.0	10 鞍馬・貴船	6.2

（京都市観光調査年報 平成20年）

○図書館蔵書数

	年次	総数	
			児童書
総数	平成16年	1,584,674	505,252
	平成20年	1,716,733	551,320
中央図書館	平成16年	342,727	89,216
	平成20年	387,085	106,098
北図書館	平成16年	64,985	26,709
	平成20年	68,726	27,942

(参考:京都市統計書 平成20年版)

8 景観

市では、1200年の悠久の歴史に育まれてきた歴史都市・京都の美しい景観を、50年後、100年後も守り、育てるため、平成19年9月から「新景観政策」を実施しています。北区には、京都の三山の一角をなす北山の緑や、賀茂川の水辺空間、歴史ある社寺、伝統的町並みなど、自然と伝統、歴史的景観が形成されており、それらを貴重な環境を後世に伝えていくために、地区の特性に応じた様々な景観規制がなされています。

○伝統的建造物群保存地区（上賀茂地区）

文化財保護法に基づき、市内には、産寧坂地区、祇園新橋地区、嵯峨鳥居本地区、上賀茂地区の4地区が指定されています。伝統的な様式をもつ建造物（伝統的建造物）については、その様式に従って修理を行い、保存を図っています。一方、モルタル塗りやアルミサッシなどの現代化によって、伝統的な様式を失った建造物（伝統的建造物以外）については、伝統的な様式に準じて順次、修景を図ることにより、地域の特色を守り育てています。

○歴史的風土特別保存地区（神山、上賀茂、西賀茂、金閣寺、御室・衣笠地区）

古都保存法に基づき、京都の三方の山並みやその山裾等の地域で歴史的に意義が高く景観上も重要な地域（歴史的風土保存区域）の中で、特に枢要な地域を「歴史的風土特別保存地区」指定しています。平成8年5月の歴史的風土特別保存地区の拡大指定では、五山の送り火を含む京都盆地周辺の山裾部のほぼ全てが指定されることになりました。区域内で、現状変更行為を行う場合は、あらかじめ市長への届出が必要であり、その趣旨に反する行為は制限されています。

○風致地区（神山、上賀茂、西賀茂、金閣寺、御室・衣笠近郊等）

都市計画法等に基づき、都市の自然環境を維持し市民の生活環境を保全するための地区で、市街地を取りまく山々とその山麓部、寺院、河川沿い、住宅地など幅広く指定しています。

○景観地区

景観地区とは、景観法や都市計画法に基づき、都市計画区域又は準都市計画区域内において、市街地の良好な景観の形成を図るために定める地区のことです。景観地区には、建物の形態意匠に関する制限を定めるほか、必要に応じて、建物の高さの最高限度や最低限度、壁面の位置の制限、敷地面積の最低限度を定めることができます。

市では、従来の美観地区に指定していた地域に加え、おおむね昭和初期には市街化していた北大路通、東大路通、九条通、西大路通に囲まれた地域（歴史的市街地）などを、50年後、100年後の京都の将来を見据えた歴史都市・京都の景観づくりの重点

地区と定め、景観地区としています。地域の特性に合わせ、山ろく型といった地区類型別に6つの美観地区と2つの美観形成地区を指定しています。

<北区の主な景観地区>

- ・旧市街地型美観地区（西陣）
- ・歴史遺産型美観地区（上賀茂郷界わい景観整備地区）
- ・沿道型美観形成地区（平野神社周辺）
- ・市街地型美観形成地区（小山）

○建造物修景地区

三方の山々の内縁部や南部地域など、景観計画区域のうち、景観地区及び風致地区以外の市街地の区域（高度集積地区等を除きます。）を建造物修景地区に指定し、景観地区と比べて緩やかな景観規制により、良好な市街地景観の形成及び向上を図っています。市では、山ろく型や岸辺型といった地区類型別に、4つの建造物修景地区を設けています。

<北区の主な建造物修景地区>

- ・山ろく型建造物修景地区（北部）
- ・山並み型建造物修景地区（北山周辺）

○眺望景観保全地域

眺望景観を保全、創出するために規制が必要となる地域を「眺望景観保全地域」に指定しています。眺望景観保全地域は、建築物等の標高や形態、屋根等の色彩など必要となる規制の内容に応じて、眺望空間保全区域、近景デザイン保全区域、遠景デザイン保全区域の3つの区域に分類しています。

<北区の主な保存すべき眺望景観>

- ・上賀茂神社
- ・金閣寺
- ・船岡山公園からの「大文字」「妙」「法」「船」「左大文字」
- ・西大路通からの「左大文字」

○市街化調整区域（中川、小野郷、雲ヶ畑）

市街化区域とは、市街地を形成している区域及び概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図る区域で、用途地域を定め、道路、公園、下水道、教育施設等の都市施設を整備し、良好な市街地を形成するため積極的な整備開発を行う区域です。これに対し、市街化調整区域とは、市街化を抑制すべき区域で、市街地の無秩序な膨張を抑制するため、原則として新たな開発行為が禁止されています。

9 防災

北区は自然に恵まれた地域である反面、自然災害には大変弱い側面をもっています。山間地や急傾斜地での土砂災害や河川等（賀茂川、紙屋川、深泥池等）の増水に対するしっかりとした備えが必要です。雲ヶ畑地域では、依然として集落中心部や街道筋での土砂崩れが発生しており、住民の安全を確保するための手立てが求められます。

また、市街地では、歴史ある町並みには木造住宅が密集し、道路が狭隘な地域も多く、日常の防火対策はもとより、大地震等による大規模災害発生時の発生時の広範囲な家屋倒壊や大規模火災に備え、高齢者・障害者等の救済も念頭に入れた、地域ごとの防災計画の策定や防災体制の確立が急務です。

○広域避難場所一覧

No.	広域避難場所名称	所在地	安全面積(㎡)	収容可能人員(人)
1	京都ゴルフ場舟山コース(西賀茂)	北区西賀茂船山	39	195,000
2	賀茂川右岸(御園橋より上流)		2.25	11,250
3	大宮交通公園	北区大宮西脇台町	1.2	6,000
4	賀茂川右岸(上賀茂橋～葵橋)		4	20,000
5	金閣寺境内	北区衣笠金閣寺町	1	5,000
6	立命館大学衣笠グラウンド	北区等持院北町	1.8	9,000
7	洛星高校グラウンド	北区小松原南町	1.5	7,500
8	京都ゴルフ場上賀茂コース	北区上賀茂本山	39	195,000

(参考: 消防局ホームページ)

10 学区の概要

○元学区別推計世帯数及び推計人口（平成 20 年 10 月 1 日）

北区には 19 の元学区があり、中川・小野郷・雲ヶ畑の北山三学区で北区の面積の約 60%を占めています。人口は大宮学区が最も多く、女性の比率は柊野学区が最も高くなっています。

元学区名	面積 (km ²)	世帯数	人口総数	男	女	1km ² 当たり		1世帯当り人員
						世帯数	人口	
北 区	94.92	56,338	122,265	58,552	63,713	594	1,288	2.17
待 鳳	1.015	5,090	10,599	5,045	5,554	5,015	10,442	2.08
紫 竹	0.586	3,326	6,809	3,173	3,636	5,676	11,619	2.05
鳳 徳	0.464	3,091	6,742	3,108	3,634	6,662	14,530	2.18
紫 野	0.609	3,646	7,933	3,622	4,311	5,987	13,026	2.18
楽 只	0.250	1,338	2,491	1,150	1,341	5,352	9,964	1.86
鷹 峯	6.777	1,935	4,364	2,146	2,218	286	644	2.26
大 宮	10.091	7,516	16,757	8,340	8,417	745	1,661	2.23
柊 野	10.090	4,872	11,798	6,198	5,600	483	1,169	2.42
上賀茂	2.462	5,197	11,929	5,718	6,211	2,111	4,845	2.30
元 町	0.277	1,493	3,207	1,449	1,758	5,390	11,578	2.15
紫 明	0.628	3,028	6,068	2,755	3,313	4,822	9,662	2.00
出雲路	0.343	1,099	2,437	1,090	1,347	3,204	7,105	2.22
柏 野	0.166	1,562	3,394	1,588	1,806	9,410	20,446	2.17
大將軍	0.417	2,738	5,521	2,480	3,041	6,566	13,240	2.02
衣 笠	0.883	4,099	8,052	3,843	4,209	4,642	9,119	1.96
金 閣	3.745	5,957	13,253	6,413	6,840	1,591	3,539	2.22
中 川	15.384	147	425	215	210	10	28	2.89
小野郷	21.495	131	294	130	164	6	14	2.24
雲ヶ畑	19.238	73	192	89	103	4	10	2.63

(参考:京都市統計書 平成 20 年版)

○学区ごとの年齢別人口割合

0～14 歳の人口割合は柊野学区が、15～64 歳の人口割合は大宮学区が、65 歳以上の人口割合は小野郷学区が最も高くなっています。北区では、65 歳以上の人口比率が増えています。中川・小野郷・雲ヶ畑の北山三学区ではその割合が著しく高くなっています。

元 学区名	平成17年10月1日現在			元 学区名	平成17年10月1日現在		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上		0～14歳	15～64歳	65歳以上
北 区	11.6	66.9	21.1	元 町	9.7	63.1	26.8
待 鳳	11.3	66.3	21.7	紫 明	9.1	65.7	25.0
紫 竹	10.2	65.4	24.3	出 雲 路	8.8	63.0	28.0
鳳 徳	10.0	62.8	26.8	柏 野	8.8	58.8	32.4
紫 野	9.9	62.1	27.8	大 将 軍	9.3	68.0	22.7
楽 只	7.2	65.8	26.8	衣 笠	10.3	68.5	21.1
鷹 峯	12.1	68.1	19.8	金 閣	13.5	67.4	18.8
大 宮	13.8	71.2	14.6	中 川	9.7	55.2	35.2
柵 野	15.2	69.8	13.8	小 野 郷	4.7	53.1	42.3
上 賀 茂	12.3	68.6	18.3	雲 々 畑	8.3	58.3	33.5

(参考:京都市地域統計要覧 平成20年版)

